



# サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No. 200

2024年12月

支部長 SS

長い長い夏が過ぎ、あっという間に冬を感じる季節となりました。本当に誰かに文句を言いたくなるように、秋が短くなっているように感じます。11月に入るまではずっと晴天が続いていましたが、佐賀のバルーン大会が始まった途端、これまでにないような雨になってしまい、残念ながらバルーン大会は中止となってしまいました。天候にもよりますので、是非とは言えませんが、どうぞ11月の初めの佐賀のバルーン大会にもおいでください。

また今年は11月に九州、韓国、台湾のサーバスメンバーで大分での秋例会を開催しました。皆様の協力あつての開催だったと思います。詳しい内容については、本会報の続きをお読みください。

皆様の協力を得て、サーバス九州支部会報12月号が出来上がりました。次の内容でお届けします。

支部長 SS

1. サーバス九州秋例会 in 大分 2024 を終えて
2. トラベラー体験レポート
3. サーバス旅行レポート
4. 新入会員紹介
5. 九州支部現況
6. 支部からの連絡
7. 編集後記



## 1. サーバス九州秋例会 in 大分 2024 を終えて

### サーバス九州秋例会 2024、大成功!!

MM(長崎)

昨年の北九州秋例会で、今年度は大分開催ということが決まっていました。また、昨年の東アジア会議（於台湾）では、今後は支部単位で、更に交流を深めていこうという提案がなされたことを受けて、今年の秋例会には、韓国や台湾にも声掛けをしようという声が高まりました。支部役員の間では、初めてのことで不安も大きかったのですが、人数を制限して実施するという事にしました。当番の大分会員からの「時間はまだあるし、やってみましょう」という力強い返事に後押しされて両国に案内した結果、台湾 10 名、韓国 14 名、九州会員 17 名、計 41 名という、予想をはるかに超えた大規模の、国際交流秋例会 in 大分を開催することができました。

以下、少し要点をまとめてみました。

\*秋例会 in 大分は、11月17、18日の1泊2日の予定で案内していたが、海外トラベラーの参加が多かったので、竹田市竹楽に加え、長湯温泉をもう一泊追加して再提案することになった。

\*主な活動内容：17日：臼杵駅集合、臼杵石仏見学、竹田市の竹灯籠祭り「竹楽」散策

18日：たけた城下町朝のwalking、岡城址見学、原尻の滝、長湯ラムネ温泉、交流会

\*韓国から「日本の歌もみんなで歌いたい」との提案で、竹田市にピッタリの「荒城の月」を提案した。韓国のCさんのリードのもと、滝廉太郎記念館近くの庭園と、岡城址の滝廉太郎碑の前で、荒城の月を日本語と韓国語で大合唱。感動の忘れられない瞬間であった。

夜の交流会では、Servas Songを紹介していただき、皆で合唱した。もちろん、それぞれの国の言語で、それぞれの歌を披露して、時間が経つのも忘れてしまうくらいの盛り上がりようであった。（支部長のSさんも、オカリナで「旅愁」を演奏！）

\*秋例会後は、19、20日と2泊3日で、宮崎のN会員を中心に宮崎ツアーを企画・実施していただいた。3名という少ない人数で、20名のトラベラーをホストしていただき、ご負担をおかけしたと思うが、トラベラーは大満足の様子であった。

\*一番の大きい問題は、秋例会前後に、24名の各トラベラーのホストを十分に探すことができなかったことが挙げられる。九州各県別担当者を通じて、ホスト依頼の呼びかけもしたが日程等の条件が合わなかったりで、ホテル滞在を余



儀なくされたトラベラーも出てきた。その際に、福岡では、デイホストを申し出ていただいたのは、とても有難かった。

\*開催地大分会員の精力的な頑張りは言うまでもない。例会の準備段階で入会手続きを済ませた2名が新会員として仲間入り、また、例会当日のとても楽しそうな交流会を目の当たりにしたホテルスタッフの1名が、サーバス入会を申し出るという嬉しいニュースも。

半年以上も前から取り組み始めた、今回の秋例会でした。その間、支部役員間の情報共有、開催地コーディネーターとの連携、台湾・韓国との連絡調整、そして、支部会員間の連絡と、多岐にわたって様々な連携が必要とされます。かなりの時間を費やして大変なこともありました。改めて九州サーバス会員のチームワークと皆さんの協力で、無事終了することができたと、改めて感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、いい体験、いい勉強をさせていただきました。今後とも、よろしくお祈いします。

### 台湾からのメッセージ

#### PY(台湾)

再びお会いできてとても嬉しかったです。まず、九州会議の大成功をお祝い申し上げます。皆様の素晴らしい仕事ぶりに本当に感銘を受けました。私が経験した中で最も効率的でよく組織されたイベントの一つでした。皆様の努力が明らかで、私たち全員を代表して心からお礼を申し上げます。このイベントに参加し、企画に協力してくださった九州のメンバー全員に心からの感謝をお伝えください。皆様の誠実さと熱意に深く感動しました。大変だったと思いますが、参加者全員が素晴らしい時間を過ごし、快適に過ごし、おいしい料理を楽しめるよう、細部まで配慮して準備されていました。改めてお礼を申し上げます。九州のメンバーにも感謝の気持ちを伝えてください。



会議の成功には素晴らしい参加者も必要ですが、韓国と台湾のメンバーは多くの温かさやエネルギーをもたらしてくれました。皆様の純粋な心と友情を感じることができ、それは私に忘れられない印象を残しました。皆がそれぞれ違う言語を話しながらも、同じ歌を歌い、まるで昔からの友人のようにつながっているのを見るのは、とても感動的でした。

帰宅後、今回の会合を表現する強い感情が、私の心に思い浮かびました。それは、愛にあふれた、感謝の気持ちでいっぱいの会合です。これらの感情は参加者全員に共通だと思います。このつながりと喜びの感覚がこれからも大きくなり、私たちの友情が強くなり、今後何年も忘れられない思い出が作られることを願っています。ありがとうございました！



## 韓国からのメッセージ

JH

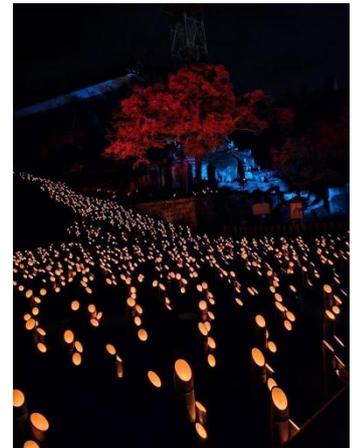
Servas 日本、台湾、韓国の3カ国の会員が九州の大分に集まりました。最も近い国、サーバスの会員たちが純粋なサーバス精神で団結し、真の友愛を分かち合う素敵なイベントでした。韓国会員14人、台湾会員10人、日本会員16人、約40人が8泊9日間、福岡、大分、佐賀、長崎、宮崎を旅行しながら深い情を分かち合いました。

年老いた日本人会員たちの感動的なホスト活動と3カ国の団結を成し遂げた日本人会員たちに心から感謝します。

毎年Bamboo Lantern Festivalが大分県3カ所で開かれるが、竹田が元祖だ。市街地、路地のあちこちに竹を45度に切り、その中にロウソクを入れて別天地を作る。右の写真は、お寺に上がる庭と階段に竹のランタンを設置し、中央の木には赤色で照明して壮観だ。村の小山にある寺院まで登る階段も竹ランタンで飾り、遠くから眺めるとまるで龍が昇天する場面のように見える。

ここは天然温泉地域で、昼間に見ると木々が緑色だが、夜間は一面赤い色で彩色された。

約40人が日本の伝統献立の昼食を共にする。  
今回感じた日本の食べ物はさっぱりしていて韓国人の口にぴったりだ。  
みんな日本食に満足している。  
おいしい食べ物を分かち合うことも集まりの重要な要素だ。  
バスや電車の旅でのおやつも会話の醍醐味を高めてくれる。



今度の日本サーバス旅行に家内を連れて行った。

宮崎の海辺の公園にきれいに咲いた名も知らぬ赤い花が写真とよく似合って載せてみた。  
佐賀に住んでいるN教授は日本だけでなくアジアでも広く知られたサーバス活動家だった。十数年前に我が家にホストした私のサーバスのアイコンだ。奥さんが病気だという知らせを聞いてとても残念だったが、実際にお会いしてみると元気で食事もたくさんされる。長い伝統を持つmamエンポップス食堂の「焼きカレー」昼食を持って教授の家に行った。4時間あまり胸に抱いていた多くの対話を交わして思い出を作った。今年米寿の教授ご夫妻、末永くお元気でいらっしやることを願う。

以下、それぞれの会員自身が感じた率直な心情をオムニバス形式で書いてもらうことにする。

日本があまり好きではなかった私は、今回の旅がきっかけで、日本の中身を見て、日本人たちの心を学ぶことに関心を持ちました。

3か国が集まる大分行事は、集うことそのものを体験する場所でしたが、個人的なホスト体験が私の心を大きく変えたようだ。

福岡で一人暮らしをしているSさんと一緒に過ごした2日間は、韓国人と日本人の深い感情を共有する機会となった。そして、私が更に年を重ねるにつれて、孤独感を少しでも軽減するために、様々な面で私の人生に影響を与えたようだ。

もう一つは、最後のホストKの家で、その夫のSさんと筆談を交わした経験から、彼らの本音を感じた。私が日本語を全然学んでいないことをすまないという気持ちから、今までは日本が好きではなかったと正直に告白をしてしまった。私に差し出された彼のスマートフォンにはこう書いてあった。

「日本が悪いことをたくさんしたから当然ですよ。」

その瞬間、長い間積もっていた日本に対する反感が雲が晴れるように消え、私の心は感動でいっぱいになった。そう、一生教師をされた方がこんな考えを持っているのだから、きっと学生たちにも授業で、そのような精神を伝授されたにちがいない。

私たちが会って本音を交わすということは、私たちの間に詰まった川の水が流れるように水路を作る作業、私の心の中に日本に流れていく水路を作ったようだ。

## SOC

初めて経験するサーバスのホストで、世界のサーバス会員たちが厚い情と人間愛で団結していることを肌で感じた。

80歳のKさんは、地域社会で活発な活動をされる予想以上に健康な姿で、これ以上望むことができないほど最善を尽くし、ゲストに対する情熱を心から尊敬する。

翌日の明け方6時03分の汽車に乗り遅れるのではないかと、知人に5時に電話で起こしてくれるように頼む細密さ、汽車で食べろと言って弁当を作ってくれた真心、ゲスト配偶者まで配慮したプレゼント、皆が感動した。

音楽は世界の人々の心をつないでくれる。特に、3カ国の参加メンバーと一緒に歌う「Servas Song」、最後に一緒に熱唱した「Edelweiss」は、ずっと思い出として記憶されるだろう。

心から幸せで安価な旅行経費、サーバス旅行の醍醐味を感じることができる感動的な旅行で、長い間記憶に残ると確信している。

## CJK

### 〈環境未来都市、北九州市エコ環境運動を見て〉

--ゴミの資源化、減量化にご協力ください--

2024年11月16日土曜日、案内者に連れられて公園に入ると、北九州市環境局の大きな自動車が、環境運動キャンペーン文句--ゴミの資源化、減量化に協力してください--を付けて前に立っていた。世界的に環境問題が深刻になり、エコ、グリーンキャンペーンで地球環境保護運動への参加を勧めていた。

普段から関心が高かった部分なので近付いてみた。

使い捨て用品の削減、エコバッグの持ち歩き、プラスチックの使用を減らし、エネルギー消費を減らし、リサイクルを実践しようという運動だった。

緑色のTシャツを着たボランティアたちは、紙を集めて紙袋に入れてくればトイレットペーパー1個に交換し

新聞紙でエコバッグも紙コサージュも作ってリサイクル販売し、古着も販売した。

私はすぐに紙のコサージュを10個買った。リサイクル広報用品として韓国に広く広報しようと。

私たちの生活の中で実践できる環境にやさしいグリーンエネルギーを探し、皆が一緒に参加してきれいで健康な地球環境で暮らしたいと思う。 日常で環境を守ること、そんなに大げさではないと言います。

何よりもゴミを正しく排出することが重要です。

私たちがする行動が環境汚染と気候変化に及ぼす影響を考え、エコ環境運動は小さなことから、私と共に皆が実践していけばより良い環境を作っていけると確信します。

ある整理専門家の言葉「わくわくしなければ捨てる。本当の人生は整理の後に始まる」

この言葉が私の心に新たに迫ります。

## SGK

佐賀の日本人の親切 -- 佐賀で11/16の朝、Sと一緒に車で筑後川河口公園に行った。

ここは1918年に鉄橋を架けた。ところが歳月が流れ鉄橋を歩道として現在利用している。

鉄橋を架ける時、鉄橋の下に船が通れるようにした橋脚の間の橋を両側の橋脚の間で橋を垂直に持ち上げる装置を作った。

私は、この橋のことを説明しようとしているのではなく、この橋を運転している運転手のことを話そうと思う。

運転手は遠くから歩いてくる3人を見て、丁寧に私たちを待っていた。

案内したSが韓国から来たお客さんだと紹介した。

還暦を過ぎた頃の運転手は、通り過ぎる船もないのに、何も言わずに私たちのために橋を持ち上げるハンドルを回すと、雄大な橋がモーター音とともに垂直に上がるではないか。あまりにも想定外だった。

私はこの機会だと思って上がった橋を写真に撮った。しばらくして元の状態に戻した。

橋は1918年に設置され、二つのビームをリベットで固定する方法を使って竣工したのだ。今もそのままだ。

私たちの一行は、「説明はよく聞いた」とお辞儀した。運転手は帽子を脱いで、私たちに丁寧に頭を下げ、挨拶をしてくれた。思いもよらない運転手の丁寧な挨拶に驚いた。

あ～、これが日本人の親切なんだと改めて感じた。

帰国してからもずっと、その運転手の丁寧で親切な姿は永遠に私の頭から離れないようだ。

## SPJ

私の経験上全世界を通じて一番よく保全され維持/管理されている美しい景色と自然、そして環境に驚きたくさんのことを学ぶことができました。

特に私たち外国客たちに対する細心で献身的な歓待は、サーバス会員としての家族愛のような絆を個人的に感じる機会となりました。

「親切-Kindness」という単語の本当の意味を学ぶことができた、私にとって一番有益な海外旅行でした。

また、ホストとの思い出が印象的でした。80歳という高齢にもかかわらず、到着前に交通、食事、睡眠、洗濯、現地観光など、不便がないようあらゆる手配をしてくださり、涙が出るほどの感謝と、温かい人間の絆を感じました。



## 秋例会 in 大分を終えて

KC(大分)

昨年の秋例会の折、次の交流会を引き受けてくれる県はないですかとの問いかけに大分が協力することになりました。それから韓国、台湾の方をお迎えするまでの時間の流れの速かったことは言うまでもありません。しかし温泉は出るとは言っても、交通の便の悪さはいかんともしがたく、その点が一番のネックでしたが、民間の心ある方のご協力を得て3日間バスをお借りできて、何とか計画通りに事が運べたことに、安堵したことでした。

正直、最初に聞いていた外国の方の人数が、連絡が入る度に増えていったときは不安ばかりが頭をよぎり、悩みもしました。会員さん達の協力の下、力強い言葉を頂けて無事終了出来ましたことに感謝の言葉しかありません。皆さんとの再会をお約束しつつ、お別れをしましたが、同じ仲間が一時ではありますが、同じ時間を共有出来る事の嬉しさ、楽しさサーバス(人)です。

再会を 約束しつつ ハグすれば 肩越しにみゆ 有り明けの月

## 2. トラベラー体験レポート

### Servas Report -九州 (福岡, 北九州, 佐世保, 熊本)

2024年9月14日 - 10月4日

LS(Germany)

ドイツでは寒くなってきました。日本はどうか？皆さんは元気ですか？私は今仕事が忙しいのですが、クリスマスには家族と一緒にブラジルへ帰ります。

さて、この3週間の日本旅行では本当にお世話になりました。みなさんのおかげで、とっても楽しかったです。それに、日本の文化と日本語について多くのことが学びました。

ここに旅行のハイライトをいくつかまとめました：

#### 福岡:

SさんとYさん:



Tさんと:



KさんとAちゃん:



明治アカデミーという日本語学校の卒業パーティー:



#### 佐世保:

MT・MMさんと



熊本: NKさんとMSさんと:



北九州:

OKさんとTNさん:トイレの博物館:



素敵な場所を見せてくださり、一緒にアクティビティをしてくださったことに本当に感謝しています。

では、これから日本も寒くなると思いますが、どうぞお体にお気をつけください！  
ドイツまたはブラジルにいらっしゃる時は、ぜひお知らせください。

L ☺

一週間の日本語研修の後は、ほとんど日本語でサーバス旅行をされていました。このレポートも、日本語で挑戦されています。語学習得の心構えを学ばされました。

### 3. サーバス旅行レポート

#### この指とまれ、韓国旅行

SS(佐賀)

これまで九州支部では会報などで呼びかけて支部会員同士で台湾、韓国、インドネシアとアジアの国々を訪れて現地のサーバス会員との親睦を図ってきました。そこで2019年より企画名を『この指とまれ』として「どこどこ行きたい人この指とまれ」と呼び掛けて、その指にとまった人たちで計画をし一緒に旅行します。これまでに国内では大分久住や佐賀いろは島に行っています。

今回はコロナ禍でしばらく海外旅行が出来なかったため、そろそろ旅行にでも行きたいと言った声上がり始めました。その頃ちょうど台湾にて東アジアミーティングがあり、台湾および韓国の会員さんと会うきっかけがありました。韓国に是非来てくださいという韓国の会員さんの声掛けで、数年ぶりに『この指とまれ』で先着10名で参加者を募りました。「韓国に行きたい人この指とまれ」で6月に大邱に行く計画をたてました。最初と最後の日はホテルに泊まり2泊はサー



バスステイです。8名の参加で、ステイ先は韓国会員さんが全員ホームステイできるように配慮してくださいました。その後も個人的に連絡を取ったり、訪問し合ったりと小さな交流が続いています。

## IM(大分)

6月18日から24日まで、韓国旅行にトラベラーとして参加させていただきました。

釜山—大邱—安東—慶州—釜山、という計画でした。Kさんと私は、大邱と安東を諦めて、慶州の隣の日本海に面した、韓国最東の浦項(ポハン)に行きました。もちろん、釜山と慶州もとても素敵な都市でしたが、私達が行った浦項のすばらしさを少し紹介したいと思います。

浦項は、世界的な鉄鋼企業 POSCO(ポスコ)という会社のお陰で発展した都市だそうです。立派な POSCO の歴史館もあります。迎日台(ヨンイルデ)海上楼閣と

POSCO の夜景、迎日台のバラ園はとてもきれいでした。それに100年前に日本人が住んでいた九龍浦(グリョンポ)日本人家屋通り、1900年にタイムスリップしたかのように、過去の歴史の現場を体験することができました。

私の一番のお気に入り、韓半島で一番最初に日が昇る場所「虎尾串」(ホミッコ)。

その海の中の右手のオブジェはとても神秘的で、そばに行ってみたら、なんと陸には、向かい合うように左手(共生の手)がありました。「すべての国民が互いに助け合いながら生きよう」という意味で作られたそうです。近くには、新千年記念館の展望台や国立灯台博物館など、まだまだ行きたい所や見どころ満載です。

皆さんも是非行ってみてください。私もまた行きたいと思います。



## 4. 新入会員紹介

### 【IMさん(大分)】

6月に、トラベラーで韓国に行かせていただきました。とても親切にお世話をさせていただきました。

11月の秋例会が大分で開催されるということで、私にも何かできることがあればと思い、サーバス会員として入会させていただきました。

これからもよろしくお願ひします。

### 【HYさん(大分)】

この度入会させていただきました H と申します。

30代で高校理科非常勤講師を辞めて、子連れでオーストラリアに2年ほど語学留学しました。帰国後は商社勤務のあと医療分野の在宅翻訳と翻訳学校の講師の仕事をしていました。2年前に、長年住んだ東京から大分県国東市(私の生まれ故郷)に移住しました。今年春から仕事を大幅に減らし、定年退職者の

夫と社交ダンスや家庭菜園などスローライフを楽しんでいます。

以前はよく海外旅行に行きましたがツアーではなく個人旅行がほとんどで、ツアーでは経験できない色々な体験ができました。私としては現地の人の家に宿泊してその国の日常生活などを体験してみたかったのですが、残念ながら機会に恵まれませんでした。でも一度、ご縁があってカナダ人女性の家に 2 週間ほど宿泊させてもらい彼女の仕事場に連れて行ってもらったり友達と食事を一緒にしたりして、楽しく過ごしました。

最近では年齢的に頻りに海外に行く機会はありませんが、海外の方と交流したいという思いは今でも持っています。また、ここ 10 年ほどは英語を話す機会がなく、衰えてしまった英会話力を少しでも上げたいという気持ちもあります。

そんな時にピアノ教室でサーバス会員の O さんからお話を伺い、是非会員になりたいと思い、さっそく 11 月に大分県で行われたサーバス九州秋例会に参加させていただきました。

韓国、台湾、長崎、佐賀、宮崎からいらした会員総勢 40 名で、臼杵市、竹田市、豊後大野市を観光しました。竹田市の岡城址では滝廉太郎の銅像の前で全員で「荒城の月」を合唱しました。滝先生もお喜びになったでしょう。

私は初めての参加で少し緊張していたのですが、さすがにいろんな国の方と交流している皆さんだけあってどの会員の方もオープンマインドで、すぐに緊張が解けました。予想をはるかに超えて楽しい 2 日間を過ごすことができ、秋例会に参加して本当に良かったです。ありがとうございました。これからは、いろんな国を旅する楽しみに加え、各地でサーバス会員にお会いできる楽しみが増えました。

最後になりましたが、秋例会の開催にあたって時間をかけて準備し当日は旅程がスムーズに進行できるよう奔走してくださった会員の皆様、2 日間ずっと車を運転してくださった会員の皆様、快適な宿とおいしい食事を提供してくださった会員の方に心から感謝申し上げます。

## 5. 九州支部現況

〈2024 年 11 月末日現在の会員数〉 39 名（家族）：内 新入会員 2 名、休会 1 名

福岡県	： 13 名	佐賀県	： 2 名	長崎県	： 7 名	大分県	： 10 名
熊本県	： 3 名	宮崎県	： 3 名	鹿児島県	： 1 名		

## 6. 支部からの連絡

### ○九州県単位交流会の活動補助費について

熊本県から交流会実施の報告を受けています。昨年に引き続き、会員一人当たり 1,000 円の補助となっています。まだ実施されていないところも、まだ間に合います。せっかくの機会ですので、連絡担当者の方にはお手数おかけしますが、是非計画・実施をお願いします。

### ○年会費納入について

日本サーバスの内規に「該当年の 1 月 31 日を納入期限とする」とあります。来年度 2025 年会費については、秋例会参加者からは、既に全員納入いただきました。2025 年会費は、1 月 31 日までに納入をお願いします。

○本会報1ページの集合写真に、サーバス九州支部旗が写っています。4月総会で決定した通り、早速製作し、秋例会から使用しています。併せて、九州地図入りのうちわも作りました。トラベラーへのお土産に喜ばれています。ご活用ください。



○トラベラー受け入れ報告を確実に支部長までする。

サーバス旅行をしたとき、そしてトラベラーを受け入れた時は、支部長まで報告することになっています。受け入れ報告には2つの方法があります。①日本サーバスのWebページ⇒「トラベラー受け入れ報告」から入力報告すると、その内容メールは自動的に自分のもとに届き、自分の記録にもなります。同時にそのまま支部長へ転送していただくと助かります。忘れないうちにその都度報告をしてください。(Contact us [servas-japan.org](mailto:contact@servas-japan.org))

②支部長に直接報告する

サーバス九州では、この報告の仕方を推奨します！

Ctrl キーを押しながら、ここをクリックしてみてください。報告ページに直接いくことができます。

## 7. 編集後記

秋例会を終えて、トラベラーからたくさんのお礼のメッセージが届きました。また、支部会報用に振り返りのレポートをお願いしたところ、それぞれの視点で、興味深いレポートが寄せられたことに感謝です。中には、予想しなかった本音を綴っていただいたものもありました。ホームステイを通して、一つ屋根の下で、寝食を共にして、ひざを交えて交流できるサーバスだからこそ、多様なものの考え方や生きざまに出会える喜びがあるのだと、今更ながら感じました。

そして今まで海外との原稿のやり取りは英語がほとんどでしたが、今回はで送信されてきたり、翻訳された日本語で送られてきたり。意味がよくわからず原語を英語にして概要を把握してから日本語にしたり…。翻訳機が大活躍です。紙面の都合上日本語だけしか掲載していませんし、ここの表現は？というところもあるかとは思いますが、ご了承ください。

個人的にも、トラベラーのホストをする機会が以前よりは回数が増えてきました。お互いをよりよく理解し、コミュニケーションが図れるように、語学力の大切さはもちろんのこと、人間としても、更に視野を広げて心豊かに生活しながら、更にサ

皆さん、どうぞよいお年をお迎えください。



MM